

## 村民の皆様へ

地球温暖化などの影響により、近年、自然災害は頻発化・激甚化しており、全国各地で大きな被害が発生しています。

自然豊かな北塩原村においても、大雨による土砂災害や河川の氾濫、地震、豪雪、噴火など様々な災害リスクが内在しております。これまでも、明治21年の磐梯山大噴火をはじめ、平成7年、令和4年の豪雨災害、平成23年の東日本大震災、令和7年の豪雪被害などが発生し、村民の暮らしに甚大な被害をもたらしました。

このような災害から、できるだけ被害を少なくするためには、自らの命は自ら守る「自助」、近隣の方がお互いに助け合って地域を守る「共助」、行政が施策として取り組む「公助」が基本であり、それぞれが適切に役割分担や連携することが重要です。とりわけ、安全確保の観点からは、家庭・地域ごとに事前の備えを整え、災害時には地域のつながりを活用して迅速に避難・安否確認・支援を行う体制を築かなければなりません。特に、高齢者等の支援が必要な方は、移動や避難所生活における配慮が必要なため、地域で支える「共助」の取組が非常に重要となります。

本防災マップには、危険箇所の表示だけでなく、避難所や消火栓などの消防設備の所在、気象情報や火山現象などの解説、避難時の注意点など様々な防災情報がまとめられています。また、令和6年度に福島県が公表した「新たな土砂災害のおそれのある箇所」も掲載しており、いざという時の避難行動や日ごろの防災対策、自主防災組織や災害ボランティアの活動などに役立つ一冊となっております。

ぜひ、ご家庭の目の届くところに常備していただき、家族や地域での災害対策に役立てていただきますようお願い申し上げます。

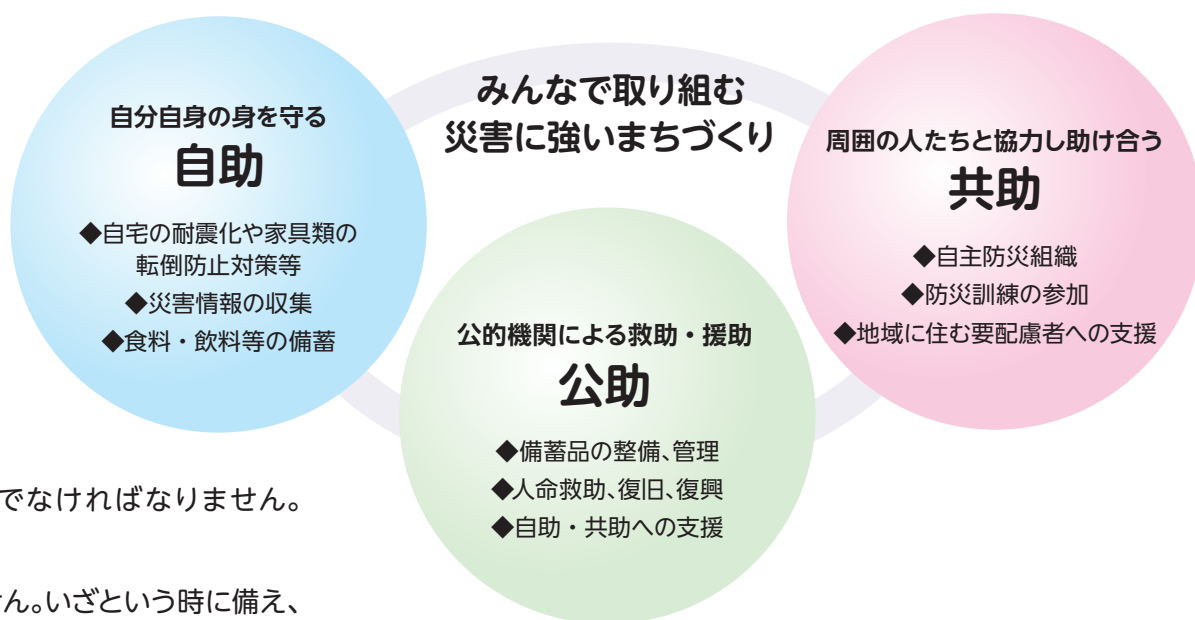
令和8年3月 北塩原村

## 地域の防災力を高める 自助・共助・公助

地震や洪水、台風等の自然災害による被害は、わたしたちの日ごろの努力によって減らすことが可能です。

行政による「公助」はいうまでもありませんが、自分の身は自分で守る「自助」、地域や身近にいる人どうしが助け合う「共助」こそが、災害による被害を少なくするための大きな力となります。ただし、身のまわりの人を助けるには、まず自分自身が無事でなければなりません。「自助」があつての「共助」です。

災害が起きてからでは間に合いません。いざという時に備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。



出典：内閣府ホームページ(<https://www.bousai.go.jp/index.html>)を加工して作成

## 家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに慌てず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

- 家具の置き方、工夫していますか？
- 避難場所や避難経路確認していますか？
- 食料・飲料などの備蓄、十分ですか？
- 関連お役立ちサイト、把握していますか？
- 非常用持ち出しバッグの準備、できていますか？
- もしもの時の情報収集、していますか？
- 安否確認方法決まっていますか？

出典：首相官邸ホームページ(<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/index.html>)を加工して作成